令和７年度公民館館長・公民館運営審議会委員等研修会

- 日時 ： 令和７年 10 月 30 日（木曜日） 13 時～16 時 30 分
- 場所 ： 厚木市文化会館 小ホール
- 内容：■■人権学習ワークショップ■■

「共生社会の実現をめざして（障がい者の人権について）」

講師　神奈川県教育委員会生涯学習課 主事兼社会教育担当　　佐野 誠 氏

■■講義■■

「主体的な学びを通して自治を創る公民館 ～持続可能な人づくり・

地域づくりをめざして～」

講師　千葉大学 名誉教授　　長澤 成次 氏

- 人権学習ワークショップの内容

実際の場面を想定し、障がいのある方が、どんなことにバリア（障壁）を感じ、困っているか、生活しやすくするためにはどんな環境整備や取組があるとよいかを考え、グループで話し合いました。

〈 参加者の感想 〉

- 障がい者に対する差別のない、みんなと同じ生活をし社会に参加できる様にする事の必要性を学べた。物理的、制度的バリアの解消には費用と時間が必要だが、情報的、意識的バリアの改善はすぐにでも出来るのではと考え、実施していきたいと思う。
- 障がいのある方たちとともにつくる公民館について学ばせていただいた。
- 障がいのある方との共生について考える事ができた。障がい者の困りごとを改善して、みんなが活動しやすい場所作りが大切だと思った。知らない障がい者マークもあり、学んでいきたいと思った。
- 関心を持つことが共生社会の実現に必要だと感じることができた。
- バリアフリー、ユニバーサルデザインの考え方を身近な話題で研修でき良かった。
- グループワークでの自分の公民館の不具合点を指摘し改善につなげる方法が良かった。共生社会の実現が分かってきた。
- グループワークを通じて、他館のことなどが分かった。



- 講演の内容



ご自身の経歴、社会教育との出会いをお話されたうえで、

（1）公民館の歴史

（2）公民館・社会教育をめぐる国の動き

（3）主体的な学びを通して自治を創る事例の紹介

についてお話しいただきました。

「公民館の歴史」のお話の中では、神奈川の公民館についても触れてくださり、参加者が興味をもって講演会に参加していました。

〈 参加者の感想 〉

- 流れが分かり、順を追って理解する事ができ、とても良い経験になった。委員の皆さんにとっても、公民館の役割を知って頂く良い機会になったと思う。
- 公民館の生い立ちから、その歴史を学ぶ事ができた。また具体的に工夫している公民館の事例も知る事ができ、ネット等でその内容を調べてみようと思う。勉強になりました。地域の宝物を見つけ大切にしていこうと思う。
- 分かりやすく講演して頂き、楽しかった。活かせるものは地域に還元したい。
- 他自治体の様々な事例等が聞けて良かった。社会教育の必要性が多くの人に伝わるといいと感じた。
- 公民館のありがたみがわかった。
- 時系列による公民館の活動、公的機関による変革の歴史を興味深く聞いた。ただ一市民のできることの難しさもあるが、「主体的学び」は非常に参考になった。
- ナトコ映写機がまだ見れることにビックリした。(古いので)1950 年公民館の状態が分かるらしい。公民館制度の成り立ち、意義について学べた。より現在の課題のヒントになると思った。